

## 研究者プロフィール

電気電子工学科 Dept. of Electrical and Electronic Engineering —人工知能 Artificial Intelligence —

加藤 直孝 KATO Naotaka

研究業績 (論文・著書・その他の活動)



- [1] 「Program Integrated Information のセマンティックスによるプログラムとユーザのコミュニケーションモデル」, 加藤直孝, 有澤誠, 電子情報通信学会論文誌 A, Vol.J94-A, No.6, pp.405-425 (2011).
- [2] 「Program Integrated Information の文字列の単語数と Brown Corpus の単語数の比較」, 加藤直孝, 有澤誠, 情報処理学会論文誌, Vol.49, No.6, pp.2224-2233 (2008).
- [3] "Topics in Language Resources for Translation and Localization," Elia Yuste Rodrigo ed., Chapter 11, "Tagging and tracing Program Integrated Information," Naotaka Kato, Makoto Arisawa, John Benjamins Publishing Company, ISBN:9027216886 (2008).
- [4] "A Utility for Showing Program Integrated Information Changes between Versions in a Translation Verification Test," Second International Symposium on Universal Communication, Osaka Japan, IEEE Computer Society Order Number P3433 (2008).

1984年に日本アイ・ビー・エム(株)に入社後、藤沢研究所に配属され、その後退職まで大和研究所(2012年閉鎖)にいました。最初は、IBMシステム360/370につながるディスプレイターミナル(通称3270端末)開発の部隊に所属し、通信ネットワーク関係のアーキテクチャーを担当しました。その後、ポータブルシステム開発(ThinkPad開発)でノートブックPCの開発に携わりました。2002年に、日本IBMの翻訳の部署に移動し、慶應義塾大学SFC研究所上席所員(訪問)としてプログラム中の文字列の翻訳の研究に携わり、博士を取得しました。また、IBMでは特許を多数取得し、部門の特許審査委員長を務めたこともあります。今後は、英語教育の助けとなるような、英語の言語資源に関する研究を進める予定です。

## 研究分野キーワード

Artificial Intelligence, Program Integrated Information, コミュニケーション・モデル, 言語資源, 英単語